

日米欧とアジア各国の医薬品特許審査の実務を比較！
今後のグローバルな特許戦略の策定に活かせるセミナーです！

1名分料金で
2人目無料

医薬品におけるアジア各国との特許審査実務の比較 (中国・香港・台湾・韓国・インド・ASEAN主要国等)【LIVE・アーカイブ】

◆日時：【LIVE配信】2025年9月30日(火) 12:30～16:30

【アーカイブ配信】10/2(木)～10/8(水)

◆会場：自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆受講料：1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

☆講師

青山特許事務所 顧問弁理士 加藤 浩 氏 《専門》知的財産法、薬学、生化学

☆趣旨

- ・アジア各国の医薬品特許審査の実務を把握し、アジア各国における特許の権利化に活かすことができる。
- ・アジア地域の医薬品特許審査の現状と課題を把握し、アジア地域における今後の特許戦略の策定に活かすことができる。
- ・日米欧とアジア各国の医薬品特許審査の実務を比較することにより、今後のグローバルな特許戦略の策定に活かすことができる。

☆プログラム

1. 医薬品の特許審査の基本的な考え方

- (1) 発明該当性、産業上利用可能性、不特許事由
- (2) 新規性、進歩性、先願主義
- (3) 記載要件、単一性要件

2. アジア地域における医薬品の特許審査

- (1) 中国・香港
- (2) 韓国
- (3) 台湾
- (4) インド・バングラデシュ

3. アセアン地域における医薬品の特許審査

- (1) シンガポール、マレーシア、フィリピン
- (2) タイ、インドネシア、ベトナム
- (3) ラオス、カンボジア
- (4) ブルネイ、ミャンマー

4. アジア地域における今後の特許戦略の方向性

- (1) 特許法・審査基準の改正状況
- (2) 特許調査の実施状況
- (3) 特許審査の質とスピード
- (4) 今後の特許戦略の方向性

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら(https://zoom.us/download#client_4meeting)からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。

2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら(<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。

3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。

・セミナー資料は開催前日までにお送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『アジア医薬品特許』セミナー申込書(■LIVE配信／■アーカイブ配信)

会社・大学			
住 所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、弊社へFAXでお申込み下さい。

弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしていませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>